

## 広島県中小企業団体中央会 2021年3月分情報連絡一覧表

※本調査は4月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する4月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

### ●食料品

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

今月の売上は前年同月比変化なし。今後も売上は増加傾向で推移すると思われる。しかし業界では、先行き不安感から閉塞感が漂っている。

多くの人が職を失ったり所得が減少することで、個人消費が下がることが予想される。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が望まれる。

#### 中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比35.3%増加、前年同月比7.1%増加となり、売上高は前月比29.0%増加、前年同月比4.3%増加となった。

令和2年度全体の出荷量は前年比8.6%減少となった。

(繊維・同製品)

### ●繊維工業

#### 広島県織物構造改善工業組合

年初の悪い状況からは抜け出したものの、大都市の第4波拡大の影響もあり、先行きが見通せない。

新型コロナウイルスの感染拡大が終息するまで、安定した受注は厳しい。

#### 広島アパテック協同組合

コロナ禍において防護服を重点的に生産している企業は総じて製品の依頼数が減っており景況感が悪い。ただ、受注先（メーカー）を多数抱えている企業では、生産数量も多く、工賃も良い。

また、製品の売上は、消費者の動向に左右される点も多く、全般的に悪く、見通しも明るくない。

(木材・木製品)

### ●木材・木製品

#### 広島県木材協同組合連合会

##### <全国>

- ・令和3年2月の全国の住宅着工戸数は60,764戸で前年同月比3.7%減少
- ・季節調整済年率換算値では808千戸(前月比0.8%増加)
- ・利用関係別では、持家は20,390戸で前年同月比4.3%増加、貸家は22,556戸で前年同月比0.4%減少
- ・分譲住宅は17,398戸で前年同月比14.6%減少
- ・木造住宅着工は35,448戸で前年同月比1.0%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比20ヶ月連続の減少
- ・2月分では直近最低の2010年に次ぐ11年振りの低水準で、今後の動向を注視していく必要がある

##### <広島>

- ・2月の着工戸数は1,157戸で前年同月比6.9%減少
- ・内訳としては持家は445戸で前年比8.8%増加、貸家は411戸で前年比13.8%減少、分譲は284戸で前年比19.1%減少と県全体の住宅着工の動向は再び減少となった
- ・地域別では、広島市が448戸で前年比14.0%減少、呉市は84戸で32.8%減少、廿日市市では71戸で4.1%減少の一方、福山市は237戸で11.8%増加、東広島市は156戸で38.1%増加と地域間、業種間で差が見られる
- ・コロナ禍による景況の停滞状況が長引き、先が見通せない状況が続いている
- ・プレカット工場の稼働は全体的に停滞気味で、米国の好調な住宅需要や中国経済の活発化等で木材製品がひっ迫し、価格が急激に高騰するなど、先行きの見通しが不透明である。

#### 福山木材協同組合

今月は、受注はあるが木材不足により現場が進まないため、売上減少が避けられない状況である。

#### ひろしま木材事業協同組合

国産材原木について、市場ではスギ・ヒノキともに冬場からの高い相場が続いている。特にヒノキは合成工場・大手集成材工場ともに、在庫確保に動いており、B材（集成材や合板）を中心に未だに相場が上昇している。スギに関しては月末にかけて徐々に出材が増えつつあり、相場は落ち着いてくるものと思われる。

北米のディメンションランバー（針葉樹から切り出された2×4材等の製材品）や欧州のDIYなどの利益率の高い製材品を中心に需要が急伸しており、日本向けの製品は入荷量が減少し国内の製材品は価格が概ね上昇している。木材不足を理由に大手プレカット業者は減産を打ち出す先も出てきており、需要に供給が間に合わないケースが出てくると思われる。

(印刷)

### ●出版・印刷・同関連

## 広島県印刷工業組合

新型コロナウイルス感染症の拡大から1年あまりが経ち、今年度は、コロナ対策を講じた上で、未来へと繋がる挑戦の年にしていきたい。

(化学・ゴム)

### ●工業用ゴム製品

## 中国ゴム工業協同組合

第4波と言われるコロナ感染拡大傾向が拡大しており、日本各地で会食自粛要請が出ている現在、経済の回復期待はあまり感じられない。特に半導体や樹脂素材の不足、コンテナ及び船便減少の不足により、自動車業界は経営年度における上期(4~9月)に大きな減産を余儀なくされつつあり、為替も円安が進行し、原油価格の上昇に伴う諸原材料の価格上昇が進行している。仕事量(売上)が伸びない中でのインフレ進行が起きそうであり、今年度上期の経営環境は大変厳しい。

### ●プラスチック製品製造業

## 広島県プラスチック工業会

自動車関連は、今月の売上は横ばいであるが、世界的な半導体不足、新型コロナウイルス感染拡大等で不安定要素が多く、今後は減少傾向が予測される。日用品関連は、コロナ特需対応品は繁忙状態。医療関係は、横ばい状態。

原油価格の上昇から樹脂値上げが始まっており、収益への影響が危惧される。

(窯業・土石製品)

### ●窯業・土石製品

## 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

R3年3月3,251m<sup>3</sup> (前年比7.7%増加)

R3年2月2,857m<sup>3</sup>

R2年3月3,018m<sup>3</sup>

※令和2年度総出荷(令和2年4月~令和3年3月)

前年度比 3.3%減少

(鉄鋼・金属製品)

### ●鉄鋼業

## 軋鉄鋼協同組合連合会

3月は雇用調整助成金の申請を検討している事業場が少なくとも2件あり、景況感は悪い。仕事量が少ないせいか、出荷される荷物量も少ない。

新型コロナウイルスの影響が間接的に少なからずあると思われる。

(一般機器)

### ●一般機械器具

## 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、年度末対応とスポット受注のため前月比100%増加、コロナ禍の影響で国内外の設備投資に対する意欲の低下により前年同月比は15%減少となった。

感染対策の浸透により、設備投資意欲の改善や商談進展の気配が出てきた。外需先導で景況感は回復傾向にある。

(電気機器)

### ●電気機械器具

## 広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月の売上は、中国顧客の受注案件が売上増加に寄与するようになり、前月比15%増加、前年同月比5%増加となった。

半導体製造装置メーカーからの部品の受注が増加中である。

(輸送用機器)

### ●輸送用機械器具(自動車)

## 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

- ・3月の国内自動車販売台数は全需が613千台、前年同月比5.4%増加と6ヶ月連続の前年超え  
登録車は前年度同月比2.4%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車は同10.9%増加と6ヶ月連続の前年超え、マツダ車は同4.0%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・アメリカの2月の全需は1,196千台で前年同月比12.9%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同8.4%減少と3ヶ月振りの前年割れ
- ・欧州の2月の全需は1,024千台で、前年同月比16.2%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同11.5%減少と14ヶ月連続の前年割れ
- ・中国の2月の全需は1,482千台で、前年同月比473.0%増加。マツダ車は同434.0%増加と5ヶ月振りの前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は84千台、前年同月比5.1%上昇で14ヶ月振りの前年超え
- ・マツダの2月の輸出台数は前年比8.0%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比4.9%減少と2ヶ月連続の前年割れ

## ●輸送用機械器具（造船）

### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

### 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和3年2月の船舶建造許可実績は2隻56,400総トンであった。（前月2隻43,100総トン、前年同月5隻285,950総トン）

なお、この2隻は輸出船で、貨物船であった。

### （卸売業）

## ●卸売業（総合）

### 協同組合広島総合卸センター

景況感にやや好転が見られるものの、全般的に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、先行き不透明感が大きい。業界業種ごとにバラつきも見られる。

「雑貨」においては、生活必需品、医薬品関連とそれら以外（観光など）で明暗が分かれた。

「資材」においては、製造業の復調が牽引し設備投資に回復の兆しが見られ全体的には好転している。

「食品」においては、外食客足の本格的な回復には時間を要する見込みである。巣ごもり消費（中食、即席麺や冷凍食品）は堅調に推移している。

「繊維」においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出機会の減少・在宅増加を背景に需要が低迷しており、昨年来の在庫負担が重荷になっている。

債務弁済の開始や業務プロセス見直し等に対する金融支援に注視していく必要がある。DXのインフラとなるIT投資、働き方を含めた「新状態への対応」の進捗が進んでいるとは言いがたい。

## ●卸売業（食料）

### 広島県東部食糧協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、食品製造業、特に和菓子製造関連の操業が前年を大きく下回っている。

## ●卸売業（電設資材）

### 広島県電設資材卸業協同組合

1月の新築住宅着工は前年比で12.8%増加するなど、住宅市場は徐々に回復しつつあるが、店舗やホテルなどの非住宅においては、回復に時間がかかりそうである。

## ●卸売業（家具）

### リビズ株式会社

新型コロナ感染拡大による巣籠もり需要は終わりつつあるが、3月は祝日、連休があり売上は増加した。

## ●卸売業（畳・敷物）

### 広島県藁製品商業協同組合

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり販売量、取扱量ともに明るい兆しが見えず、大変厳しい状況にある。対面営業の自粛により電話やインターネットを通じた取引が主流となっている。

国産表では、極力、在庫を抑えるため、注文にあわせて製織を行っている。

一方、中国産においても販売実績は前年比で減少し、輸入においては、需要と輸入価格の動向を確認しながらの商いとなっている。

年間実績では、びんご畳表は前年比18.2%の減少、JAS畳表も同18.8%の減少となった。要因としては、新型コロナウイルスの拡大影響により、年度当初の販売不調や新年度の1～2月の不調が大きい。

### （小売業）

## ●各種商品小売業

### 協同組合三次ショッピングセンター

3月は食品の売上が好調で全体では前年比4.2%増加となった。一方、飲食店の売上は前年比から減少が続いている。

売上の低迷によりカメラ・時計店の組合員1社が3月末で脱退した。

### 広島生鮮三品連絡協議会

中央市場における3月の取扱高は、前月より若干回復したが、水産部が前年同月比10%減少、青果部が同12%減少と減少傾向にある。

広島県の新型コロナウイルス感染症集中対策の終了に伴い、営業を再開する飲食店向けの需要が若干回復するも、廃業した店舗が想定以上に多い。

巣ごもり消費が堅調で、スーパーでの週末のまとめ買い、ネットスーパーやドラッグストアでの食品の売れ行きが好調である一方、飲食料点小売店の経営はますます厳しくなっている。

## ●家庭用電気機械器具小売

### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比13.4%増加となった。商品別では、薄型テレビ同24.1%増加、冷蔵庫同18.2%増加、洗濯機同14.3%増加、IHクッキングヒーター同7.6%減少、エコキュート同0.8%増加、エアコン同10.0%増加となった。

## ●その他の小売業（燃料）

### 広島県石油商業組合

前年11月中旬から、毎週のように仕入れ価格が上昇し、小売事業者は、販売価格への転嫁に苦慮している。  
仕入れ価格上昇による販売価格の上昇、記録的な販売量の減少に見舞われた前年との対比のため、前年同月比の売上は上昇していると思われるが、石油販売事業者の経営状況は極めて深刻である。

(商店街)

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

空き店舗に3月中旬から家庭用医療機器、健康食品、栄養補助食品等を販売する店舗が開店し、商店街の集客に寄与している。

3月末で美容院1店が脱退した。

##### 広島金座街商店街振興組合

第3次新型コロナウイルス感染防止集中対策終了に伴う時短制限の緩和以降、人手は戻りつつあるが、購買意欲は依然低調のままである。

(サービス業)

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比7.0%増加、前年比4.5%減少

車検場収入は、前月比6.6%増加、前年比2.6%減少

重量税・登録印紙の売上は、季節的要因もあり前月比40.1%増加、前年比2.8%増加

・年間の状況

車検台数は3.3%減少

車検場収入は2.1%減少

重量税・登録印紙の売上は5.5%減少

車検・印紙代金とも特に上半期の減少の影響が大きい。

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

例年好調な年度末だが、今年は受注が減少。4月は多少持ち直しの動きが見られるが、5月以降の受注は厳しい状況である。

#### ●情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

世界的に電子部品が不足しており、ルネサスの工場火災の影響もあり、今後、半導体部品の取り合いが想定される。

(建設業)

#### ●工事業

##### 福山地区電気工事業協同組合

3月分の工事受付件数は前月比15.4%増加、前年同月比9.8%減少となった。

累計では、過去2年間と比較して低調となった。やはり、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が今頃になって出始めたのかもしれない。来年度は景気が上向いて来ることを期待したい。

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、3月度は前月比3.1%減少、前年同月比25.9%減少、累計前年比0.1%増加となった。カーテンの売上が良く、他の2品目をけん引した。敷物、壁装クロスでは大きく減少となり、最繁忙月の勢いはなかった。

新築物件減少に伴い、組合員の受ける見積件数が少なく、暫く低い水準で推移すると思われる。

##### 神辺建設業協同組合

コロナ禍で仕事が減少している。

(運輸業)

#### ●道路貨物運送業

##### 中国カーゴ軽運送協同組合

少しずつ景況感は上向いてきている。

##### 広島輸送ターミナル協同組合

昨年の3月は繁忙期にも関わらず、新型コロナウイルス感染症の影響で物流量が大きく落ち込んだが、今年の3月は物流の動きが活発で、売上、収益ともに改善した。

この時期は引越シーズンで、車輛、作業員ともに不足するが、今年は仕事量が3割程度減少しており車輛、作業員ともに余裕があった。

また、ドライバーの求人にも若年層の応募者が増え、ドライバー不足が緩和されてきている。

##### 松永地区トラック事業協同組合

3月の売上高は、前月比、前年同月比と比較して大きな変化はなかった。期末ということで以前はかなりの貨物が動くなど、月末、年末、期末という節目で荷物が急激に増加していたが、最近では、ひと月の中では月初めに貨物量が増え、月末になるにつれて減少していく傾向である。

軽油価格が昨年12月から毎月上昇しており今後の動向が心配である。

## ●水運業

### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。  
運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

## ●不動産業

### 広島県不動産評価システム協同組合

前月は、売上高等は不変であるが、年度末に入ってから依頼案件が増えている。

前年同月は、昨年2～3月まで固定資産の評価替え作業で一般評価作業が減少していたが、今年はその分一般評価作業が増えているため売上が好転している。

依然としてコロナ禍の不動産鑑定業界への影響は少ない。

流川・薬研堀の歓楽街の飲食店業界は、自粛・時短要請があけてから客足は戻りつつあるが、企業や官庁関係が依然自粛ムードで、出張や観光の客足が少ない状況が続いている。客足回復には時間がかかるものと思われる。

不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、新規賃貸物件の成約が増加している。